



オープンキャンパスに参加する意義

教育内容やキャンパス内容の魅力を伝えるために、多くの大学がオープンキャンパスに力を入れている。1年次から積極的に大学を訪問し、志望校選択の参考にしよう。

《オープンキャンパス参加のメリット》

1 パンフレットではわからない大学の様子がわかる。

模擬授業やキャンパスツアーなどに参加することで大学の様子がわかる。キャンパスにいる大学生や先生たちに直接話しかけてみよう。

2 大学の教授たちと興味のある分野について直接話をするができる。

自分の興味を持っている学問分野や研究分野について話をするチャンス。学校名と名前を覚えてもらえる可能性もある。(参考：志望理由書)

3 複雑化している入試情報を直接入手できる。

現在の入試方式は、一般入試以外に、センター利用入試、指定校推薦、公募推薦、AO/AC入試、自己推薦などさまざまである。志望校がどのような入試方式で入試を行っているのかを知ることで、十分に準備と対策を立てた上で入試に臨むことができる。

以下、Benesse 教育情報サイト(<http://benesse.jp/juken/201608/20160815-1.htm>)より抜粋・引用

- ▶□入試説明会では専門のスタッフが、各入試方式のメリットや最新の入試変更点をわかりやすく解説している。第1志望大が決まっている場合、入試方式をよく知ることによって「得意科目をいかした入試方式を利用する」「複数学部を一度の試験で併願する」「合格者定員の多い方式で受験する」など、現役合格の可能性を高める作戦を立てることができる。
- ▶□受験勉強に役立ててもらうため、「入試対策講座」を実施する大学もある。オープンキャンパスで過去問を配布している大学が多くあるが、一部の私立大はそれに加え「入試対策講座」を実施している。これは、大学教員や予備校講師が「入試問題の傾向分析」「過去問の解説」「今後の勉強法のアドバイス」などを行うもので、効果的な対策が期待できる。
- ▶□「AO入試対策講座」を行っている大学もある。AO入試では志望理由書が重視されるが、高校生本人が自分自身で書き方のコツをつかむのは容易ではない。そのため、大学の教員から添削指導を受けられたり、大学が求めている人材像も把握できたりする対策講座は貴重な機会と言える。
- ▶□そのほか、入試対策(夏休みの勉強法など)について在校生たちが語るトークライブを催したり、受験に関する質問コーナーを設置したりする大学もある。実際に受験を体験した先輩からのアドバイスは、勉強を進める上で参考になるはずだ。

1年 組 番 氏名 ()

訪問した大学名

大学

訪問日 2018年 月 日 ()

1 キャンパスの雰囲気

2 施設・設備

3 授業・研究内容

4 学生や教職員の様子

5 卒業後の進路

6 留学制度など